

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK 6

BOOK は図書館のワクワクを皆さんにお伝えするメディアです。皆さんが図書館に感じるワクワクも教えて下さい。知らない人に教えてあげましょう。

2013年2月20日発行 / 隔月刊
発行 & 編集 = 山形村図書館を愛する会

図書館で
心づくし
図書館で
心づくし
図書館で
心づくし

図書館では
手作り絵本や読み聞かせの
ワークショップをはじめ、
コンサートなどのイベントを通して、
思い出作りや交流も考えています。
本と併せて、楽しんでね！

6月◆読み聞かせ

ボランティア講座

山形小学校では、毎週火曜日の朝読書の時間に、村の読み聞かせボランティアの皆さんによる

読み聞かせが行われています。ボランティアの皆さんは、小学生の

お母さんから、お孫さんのいる年代の方まで15人ほどが参加して

います。山形村図書館

が事務局になって、予定表に希望日を入れていきます。読む人も聞



く子どもも楽しい時間が過ごせるのがステキ。

図書館では、読み聞かせのスキルアップを狙って講座を開きました。その現役・小学生のチホも参加大歓迎！

8月◆図書館

一周年コンサート

山形村図書館が「図書館」



から「図書館」になって1年がたちました。ますます多くの方に

利用していただけるようになって本當にうれしい。感謝の気持ちを込めて、音楽と読み聞かせのコンサートが開かれました。

おはなしの会の安田美和さんと、ヴァイオリンは牛山正博さんと、ピアノは野田あゆみさん。絵本「森のオペラ」「かいじゅうたちのい

今号は、図書館の一年を振り返ります ワークショップにも注目ください



上：一周年記念コンサートでは皆さん楽しんでくれました
下：「図書館を愛する会」メンバー有志が花壇作りで一役買いました。今年には皆さんも参加下さい

心に残る詩

須水忠次選
図書館を愛する会

震えるほどに共感出来る詩との出会いは、きつとあなたを幸せにしてくれる。そんな詩を求めて……。

第五回は、高村光太郎です。

この詩を読むと、東山魁夷画伯の「道」という絵画が思い浮かびます。さしずめ、この詩の僕の後ろの道でしょうか。そして、米詩人口バート・フロストの「行かなかつた道」も。

どの作品にも荒野を進む青年が想像されます。卒業の季節。新しい道に進む人にこの詩を贈ります。

道程

僕の前に道はない
僕の後ろに道は出来る

ああ、自然よ

父よ

僕を一入立ちにさせた

広大な父よ

僕から目を離さないで

守る事をせよ

常に父の気魄を僕に充たせよ

この遠い道程のため

この遠い道程のため

「高村光太郎詩集」より



清沢村長から記念品を手渡され、嬉しそうに大智くんは、多くの方がおうちの球根や種や花の苗を届けてくださいます。感謝です。



いろいろ着ていたブラウスを使ったり、お話しに合ったデザインを工夫したりして、世界に1冊の素敵な絵本が出来上がりました。

図書館に展示

春には図書館の周りに「ヨキヨキ」キ芽が出る予定です。皆さんお楽しみに。

している間にも、「私も作りたい」という声がたくさん聞かれました。今年のみなさんもいかがですか？

10月◆花壇づくり

「ところ」の世界観と演奏がぴたりと合い、会場は感動に包まれました。

11月◆手作り絵本講座

夏の間、図書館の入り口を彩ってくれたピンクのバーベナもそろそろおしまい。「図書館を愛する会」の有志が、春に向けて可愛い花壇をつくり、チューリップとムスカリの球根を80個植え込みました。市民タイムスに記事が載ると、

3回の講座で初めて取り組んだ絵本作り。「子どもの絵で作りたい」「孫への贈り物にしたい」と、8人の方が受講してくださいました。思いのこもった絵やお話を、バランスを考えて台紙に貼ります。表紙には子どもが小さ

村内の利用登録者数が2000人を超えました。ちょうど2000人目になった矢野沢大智さん(5才)に記念品を贈ってお祝いしました。たくさん本を借りたいからと自分のカードを作ってくれた大智さん。これからもいろんな本と出会ってくださいね。

12月◆祝2000人記念

私のこの一冊
沖津弘門
図書館を愛する会



「告白」
湊 かなえ 双葉社

中学生の少年が担任の女教師のひとり娘を殺してしまう。その事件の解明を、被害者である女教師、そのクラス的女子生徒、主犯者である生徒、彼の犯行の手助けをしましたた生徒、彼の母親などそれぞれの立場での証言(告白)から事件の全容を解明していく。その過程の中で、またまた新たな事件も起

きていつてしまつ。H・V、少年法、いじめなども絡めながら、それぞれの立場、精神状態を非常に読みやすい文章で描いてあり、二気に読んでしまつた。人間というのは、立場によつて物の見方がこんなにも違つてしまつものか、いかに精神的に弱く、もろいものかというところをつくつく感じさせてくれる作品であります。

12、1月の貸出ベスト10

- 1位 ソロモンの偽証Ⅰ / 宮部みゆき
- 2位 新幹線お掃除の天使たち / 遠藤功
- 3位 64 / 横山秀夫
- 4位 コウケンテツ流「家飲み」ごはん / コウケンテツ
- 5位 本屋さんで待ち合わせ / 三浦しをん
- 6位 神去りなあなあ夜話 / 三浦しをん
- 7位 きみはいい子 / 中脇初枝
- 8位 督促OL修行日記 / 榎本まみ
- 9位 迷子の大人 / 坂井希久子
- 10位 拉致と決断 / 蓮池薫

イシカワの図書館日記

図書館では毎月テーマブックスのコーナーを用意しています。

2月の大人のテーマは「スイーツ」。この時期になるときれいなパッケージのチョコレートが売り場にあふれますね。

弟の誕生日プレゼントにチョコレートを買うのだけれど、「ひとつつくらいいいわよね、…もうひとつ」と全部食べちゃうお姉ちゃんのお話『こねこのチョコレート』（ウィルソン）わかるなあ。神様にたった一つお菓子を選んでいいよと言われたら、絶対チョコレートにしますもの私。

一方で和のスイーツもあなどれません。デバ地下の和菓子店に勤める女性が出会う、和菓子の奥深さと日常のなぞ解きを描いた『和菓子のアン』（坂木司）あー、あんこも捨てがたい! ……神様、せめて二つ選んでいいって言ってくれないかな?

おねえさん、おすすめ新着本



「ジワジワ来る〇〇」片岡K
なにげない日常にかくれたおかしさ。絶妙のコメントで笑わせてくれます。なごみます。



「新幹線お掃除の天使たち」遠藤功
「清掃員の早技スゴすぎ!」「礼儀もハンパない」「マジ神」ツイッスターでさかんにつぶやかれている「世界」の現場力」を見よ。



「ナメクジの言い分」足立則夫
カタツムリと似た者同士なのに、持ち家がないからって、嫌わないですよ。ナメクジの本音と愛らしさに迫ります。



「新島八重」吉海直人
「会津のジャンヌダルク」とも「日本」のナインゲール」とも称される八重。今年のNHK大河ドラマの主人公です。



「フィボナッチ」ジョセフ・ダグニース
自然は数列に満ちている?!花びらりんごの種、羊のつ、人の耳…ページに不思議な法則が隠れています。



「たからものくらへ」杉山亮
ぬけた歯、なへのつまみ、まめまき 次の日におちていたまめ。珍妙なカラクタ、いえ、たからものオンパレードです。

編集後記

BOOKもお蔭様で6号となり初年度を終える事となりました。手探りで作成してきましたが図書館を知って頂ける助にはなつたかなと思っています。

図書館は皆様にもっと知って頂きたいと、この年色んな事をやってきました。今号はそんな年を振り返っています。そしてBOOKは生まれ変わります。益々充実した図書館便りBOOK7号(4月発行)を期待下さい。(稔 記)

STAFF

◎編集長：村井稔 ◎編集委員：図書館を愛する会 / 村井稔 / 石川弘美 / 平沢典義 / 和田大生 / 安田美和 / 古屋加代子 / 市瀬徹 / 百瀬景子 / 沖津弘門 / 須永恵次 / 保坂彦◎原稿：百瀬恵津子 / 石川弘美 ◎デザイン指導：森の中のデザイン室